

## 5年「Unit 6 What would you like? —郷土料理の売買をしよう—」

### 1 単元目標

クラスの友達に郷土料理を知ってもらうために、ていねいな表現を使って、注文したり会計したりすることができる。

### 2 該当する学習指導要領による領域目標

- ・聞くこと イ
- ・話すこと[やり取り] イ

### 3 授業のねらいと概要

○単元計画（6時間＋総合的な学習の時間8時間）と評価

時	《めあて》・学習活動【総括的評価（観点）】※英語表記は習得させたい表現	帯グラフは授業でのMDCIの割合 吹き出しは形成的評価
総合	・日本各地の「郷土料理」に興味をもち、タブレットで調べ、カードにまとめよう！	
<b>モチベーション (Motivation [M]): 学習者を「その気にさせる」</b>		
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のめあて「物産店の店員と客になり切って郷土料理を売しよう」を理解する。</li> <li>・「注文時のやり取り」のスマールトークを見たり聞いたりして、内容の理解を図る。</li> <li>・総合的な学習の時間とのつながりを想起し、単元目標を知る。(各県の物産展)</li> <li>・お店でどのようなやり取りをするか、日本語で一度言ってみる。</li> <li>・やり取りをするために、どのような英語表現を学びたいか考える。</li> </ul>	<p>お店での自然なやり取りの 仕方を知る。(知・技)</p>
<b>デモンストレーション (Demonstration [D]): 学習者に学びの道筋を示す</b>		
2	<p>《商品の注文時のやり取りの仕方を知り、会話をしよう！》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「What would you like?」の英語表現を知る。</li> <li>・「I'd like ~(商品) and ~(商品).」の英語表現を知る。</li> <li>・食べ物やデザートなどの語彙を練習し、会話で使えるようにする。</li> </ul>	<p>買い物の場面でのやり取りに ついて理解し、聞いたり言っ たりできる。(知・技)</p>
3	<p>《料金の尋ね方と答え方を知り、会話をしよう！》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「How much is it?」の英語表現を知る。</li> <li>・「~(商品) is ...yen. ~(商品) is ...yen. ...yen, please.」の英語表現を知る。</li> <li>・100や1000の数字の言い方を知り、スムーズに言えるように練習。</li> <li>・前時の表現も含めて入店から商品を受け取るまでの会話を練習する。</li> </ul>	<p>買い物の場面でのやり取りに ついて理解し、聞いたり言っ たりできる。(知・技)</p>
4	<p>《味を伝える表現を知り、会話で使えるようにしよう！》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「How does it taste?」の英語表現を知る。</li> <li>・「It's ~(味).」の英語表現を知る。</li> <li>・その味についての好き嫌いを伝えられるようにする。</li> </ul>	<p>食べ物の感想などについて理解し、尋ねたり答えたりしている(知・技)</p> <p>味を聞いて好きか嫌いかのリアクションを入 れてやり取りをしている。(思・判・表)</p>
<b>コミュニケーション (Communication [C]): 学習者を課題解決に導く</b>		
5 5-1 本時	<p>《より自然な会話にするためにどうするか考えよう！》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Hello and welcome! How are you? Anything else? Have a nice day! Here you are. Thank you.などの既習語句や表現も交えてやり取りをする。(お店でのやり取りらしく爽やかに会話の練習をしよう！)</li> <li>・次時の「物産店」でのやり取りを見通して既習語句や表現も交えてやり取りをする。(グループでお互いのやり取りを見合い、教え合う。)</li> </ul>	<p>店員と客のやり取りでは、どの ようなことを話しているか想起 している。(知・技)</p> <p>「挨拶」や「他には?」「どうぞ」「あり がとう」などの既習事項を想起し、技能 を身に付けている。(知・技)</p>
<b>イノベーション (Innovation [I]): 学習者が新たな気づきを自ら実感する</b>		
6 5-2 本時	<p>《物産店の店員と客になり切って、郷土料理の売買をしよう！》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブースを開き、メニューカードや計算機を用意して、店員としてやり取りをする。</li> <li>・ブースを周り、所持金の中で郷土料理を購入していく(タブレットで撮影)。</li> <li>・入退店時の挨拶や、味や好き嫌いの伝え合い、リアクションやスマイルを意識して活動する。</li> </ul> <p>【店員や客になり切って英語でのやり取りをしている。(主)】</p> <p>【学習した基本的な表現を用いてコミュニケーションを行っている。(思・判・表)】</p>	

○単元における「児童が主体的に取り組む」ための手だて

児童が進んで考え、調べ、理解・活用し、深め合っている環境をつくる。

### 主体的に取り組む活動

様々な表現や言葉を用い、他者意識をもちながら、自分の考えや気持ちを伝え合う子ども

Goal :

- ①物産店の店員になって郷土料理を販売しよう!
- ②物産店の客になって郷土料理を購入しよう!

手だて①：明確な目的、意識をもった活動  
 →総合的な学習の時間で調べてまとめた郷土料理を知ってもらう。  
 →英語を使う活動に必然性をもたせる(物産店での店員と客のやり取り)。

手だて②：タブレット端末を使った活動  
 →伝えたい単語を調べるための“辞書”の活用をする。  
 →友達のメニューカードを撮影する。

手だて③：ワークシートの活用  
 →学習したことや、積み重ねが実感できる。  
 →自分の考えや気持ち、気づきを確認できる。

## ～ 授業レシピ (第5時) ～ 5年1組 30名 (男子 15名 女子 15名) 指導者 飯野 美結 (T1) Christine Fukuda (T2)

〈材料〉CD、PC (プレゼンテーションソフト)、Question Card、google 翻訳、Picture Dictionary、メニューカード、児童用タブレット、ワークシート (振り返りカード)

本時のねらい：  
 お店でのやり取りを、より自然にするためにどうするか考え、Hello, welcome! Anything else? Have a nice day.などの表現を入れながら尋ねたり答えたりして伝え合う。

- Today's leader come here!
- Hello, everyone!
- ♪Let's start English class!
- How are you?
- What day is it today?
- What's the date today?
- How is the weather today?
- Let's have questions to ( ) in English!

【指導者の活動 (OT1 ●T2) と使用英語 ☆★児童の活動 ◆指導上の留意点 ◇形式的評価】

1 あいさつ・学習への導入 (2分)  
 ・Greeting ♪Let's start English class. (楽しく英語を発音)

2 Warm up (6分)  
 ・Question time ALTに質問し、答えてもらう。(3分) **やり取り**  
 ・Listen and Write アルファベットを聞き取り、書く。(3分) **聞く・書く**  
 ・アルファベットの大文字・小文字を書き、「音」に慣れ親しむ。 **言語**  
 ◆授業の導入を同じにすることで、継続的に英語を聞くこと、書くことに慣れ親しむ。

○Let's have questions to ( ) in English!

○Listen and write! Are you ready?  
 ●It's three letters. 1st letter is ...

3 Activity (36分)  
**モチベーション (Motivation) : 学習者を「その気にさせる」**  
 ・Our Goal 「物産店の店員と客になり切って郷土料理の売買をしよう!」の確認。  
 ・Today's Goal 《より自然な会話にするためにどうするか考えよう!》

○Our Goal is.... Do you remember?

○Today's goal is ....

**デモンストレーション (Demonstration) : 学習者に学びの道筋を示す**  
 ・既習の英語表現の確認をする。やり取りの流れを確認する。  
 ◆お店でのやり取りだから、丁寧に行うことを確認する。  
 ・やり取りを自然に行うために、他にどのような会話があるとよいか考える。

- Hello and welcome! How are you?
- Anything else ?
- Have a nice day.
- Here you are.
- Thank you.

**コミュニケーション (Communication) : 学習者を課題解決に導く**  
 ・既習の表現などを入れながら、お店でのやり取りを練習する。  
 ◆既習表現をやり取りの中で、どのくらい取り入れるか、やり取りの状況に合わせて取り入れさせる。  
 ◆絵カードを使って、実際のやり取りの見通しをもたせる。

- ★Hello and welcome! How are you?
- ☆I'm good! And you?
- ★I'm good too! This is my menu. What would you like?
- ☆How does it taste?
- ★It is ~.
- ☆I [like/don't like] ~.
- ☆I'd like (商品1) and (商品2) please!
- How much is it?
- (How much are they?)
- ★(商品1) is ... yen. (商品2) is ... yen. ...yen please.
- ☆O.K.
- ★Thank you. Here you are.
- ☆Thank you!

**イノベーション (Innovation) : 学習者が新たな気づきを自ら実感する**  
 ・今日の学習で分かったことの振り返りを行い、成長した自分を確認する。  
 ◆ワークシートに記入させることで、今日の学びを実感させる。

◇【学習した基本的な表現を用いてコミュニケーションを行っている。(思・判・表)】

4 Goodbye song (1分)

# ～ 授業レシピ (第6時) ～

5年2組 31名 (男子16名 女子15名)  
指導者 河西 将広

〈材料〉 CD、PC (プレゼンテーションソフト)、Question Card、RYB Card、google 翻訳、Picture Dictionary、メニューカード、児童用タブレット、ワークシート (振り返りカード)

本時のねらい：物産店の店員とお客さんになり切って、売買のやり取りをする。

【指導者の活動 (○) と使用英語 ☆★児童の活動 ◆指導上の留意点 【 】 総括的評価】

## 1 あいさつ・学習への導入 (2分)

- ・ Greeting ♪Let's start English class. (楽しく英語を発音)

○Today's leader come here!  
○Hello, everyone!  
♪Let's start English class!  
○How are you?  
○What day is it today?  
What's the date today?  
How is the weather today?  
○Let's have questions to ( ) in English!

## 2 Warm up (6分)

- ・ Question time 教師に質問し、答えてもらう。(3分) **やり取り**
- ・ Listen and Write アルファベットを聞き取り、書く。(3分) **聞く・書く**
- ・ アルファベットの大文字・小文字を書き、「音」に慣れ親しむ。 **言語**
- ◆授業の導入を同じにすることで、継続的に英語を聞くこと、書くことに慣れ親しむ。

○Let's have questions to ( ) in English!

## 3 Activity (36分)

### モチベーション (Motivation)：学習者を「その気にさせる」

- ・ **Our Goal** 「物産店の店員と客になり切って郷土料理の売買をしよう！」の確認。
- ・ **Today's Goal** 《店員になり切って爽やかにお客様を迎えよう！》  
《客になり切って、店でのやり取りを楽しもう！》

○Listen and write! Are you ready?

○Our Goal is.... Do you remember?

### デモンストレーション (Demonstration)：学習者に学びの道筋を示す

- ・ 既習の英語表現の確認をする。やり取りの流れを確認する。
- ◆お店でのやり取りだから、丁寧に行うことを確認する。
- ・ 店の準備をする。

○Today's goal is ....

### コミュニケーション (Communication)：学習者を課題解決に導く

- ◆big voice、smile、reaction を意識して活動に取り組ませる。
- ・ 前半の店でのやり取りを行う。(13分)
- ・ 前半の活動から気付いたことを伝え、後半のやり取りに生かすように意識する。(1分)
- ・ 後半の店でのやり取りを行う。(13分)

★Hello and welcome! How are you?  
☆I'm good! And you?  
★I'm good too! This is my menu. What would you like?  
☆How does it taste?  
★It is ~.  
☆I [like/don't like] ~.  
☆I'd like (商品1) and (商品2) please! How much is it? (How much are they?)  
★(商品1) is ... yen. (商品2) is ... yen. ...yen please.  
☆O.K.  
★Thank you. Here you are.  
☆Thank you!

### イノベーション (Innovation)：学習者が新たな気付きを自ら実感する

- ・ 今日の学習で分かったことの振り返りを行い、成長した自分を確認する。
- ◆ワークシートに記入させることで、今日の学びを実感させる。

【店員や客になり切って英語でのやり取りをしている。(主)】

【学習した様々な表現を用いて、コミュニケーションを行っている。(思・判・表)】

## 4 Goodbye song (1分)